

No.1645

第1646 回例会

2014年11月7日(金) 12:30～13:30
点鐘

君が代斉唱

ロータリーソング“奉仕の理想”

会食(和食・\$100万ミール)

会長会務

*ビジター紹介。

*本日は「立冬」です。山々が赤や黄色に染まる秋の美しさが色あせる頃です。いよいよ冬の足音が近づいて来ています。

*11月2日(日)、ロータリーデー参加の皆様、ご苦労様でした。ロータリーの活動を一人でも多くの方々に理解していただけたなら幸いです。

*倉吉東 RC 創立45周年記念式典に出席して、私たちの西クラブの創立35周年記念式典への気持ちが高揚しました。

*11月の結婚祝いを差し上げます。

児島 良 小林 一 田中章夫 本荘弘幸
山下聖児 米花廉友 倭島昭博の各会員

幹事報告

*ガバナー事務所より、2015～16年度ロータリー財団地区奨学生募集についてのご願いと募集要項。「地区補助金奨学金」と「グローバル補助金奨学金」の2種。

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*雑誌委員会

*その他

卓話「鳥取市の財政状況」

会員 児島 良さん

先週(第1645 回例会)の記録

2014年10月31日(金) 12:30～13:30

会長会務

*10月26日(日) 東部5RC 親睦ゴルフコンペ参加の皆様、ご苦労様でした。

*この度、米山記念奨学会に特別寄付金をされた岩崎陽一さんに感謝状が届いています。(第3回米山功労者マルチプル)

*再生可能エネルギーのお話をします。

①太陽の光エネルギーを利用する太陽光発電、

②力学的エネルギーを利用する風力発電、波力発電

③熱エネルギーを利用するソーラーシステム、地熱発電、海洋温度差発電、木質チップによる火力発電

④生物を利用するバイオマス、ガスによる発電等多くの再生可能なエネルギーがありますが、一日を通じて発電できるものがまだ少ない蓄電機の開発が待たれるところです。

幹事報告

*ロータリーレートのお知らせ。

11月1日より、\$1=106円

*ガバナー事務所より

①ガバナー公式訪問のお礼状。

②RI 会長夫妻をお迎えしての「ジャパン・ロータリーデー II in 東京」開催のご案内。

2015年2月4日(水)

*ロータリーデーの再度ご案内。

11月2日(日) 10:00～15:00

鳥取駅前バードハット

当クラブ担当 13:00～14:00

*鳥取中央RCより、

東部5RCゴルフ大会収支報告書。

*11月の定例理事会は都合により、11月21日(金)例会終了後に開催します。

出席率

10月31日 会員50名 欠席9名 82.00%

10月17日休会のため補正はありません

スマイル

*山下卓治会員/①森下さん、ありがとうございます

ます。②10月最終日です

- * 金田卓也会員／やまびこ館学芸員石井伸宏様、本日は宜しく申し上げます。弊社のホームページでは、いつもお世話になっております。
- * 岡本安量会員／あさってロータリーデー皆様、ご協力申し上げます。森下さん、ありがとうございました。
- * 吉田 博会員／5クラブゴルフ大会参加の皆様、ご苦勞様でした。準優勝おめでとうございます。賞品いただきました。
- * 児島 良会員／やまびこ館の石井様、卓話よろしくお願い致します。
- * 葉狩弘一会員／第2回山下会長杯優勝したみたいですよ。今日の12時4分に知りました。
- * 岡田信俊会員／峰岸さん、ありがとうございました。
- * 麻木宏栄会員／写真、ありがとうございました。
- * 峰岸健一会員／①岩崎さん、写真ありがとうございました。肉はちゃんと冷凍しているので、ご安心下さい。②吉田さん、いろいろとありがとうございました。
- * 瀧本浩志会員／結婚記念日 結婚24年目になります。
- * 森下哲也会員／創業記念日 42年です。
- * 早退 1件 合計18,000円

卓話「天正九年の鳥取城攻め」 やまびこ館 学芸員 石井伸宏 氏

- * はじめに
10月25日、鳥取城は吉川経家の下で200日の籠城戦に終止符が打たれました。この日は吉川経家の命日として、鳥取市戎町の真教寺では法要が行われています。経家は鳥取城主となっていたのは200日程度ですが、鳥取の人々の心に深く息づいているといえるでしょう。
今回は吉川経家について、紹介していきます。
- * 天正九年の情勢
天正8年までは但馬は織田氏に平定され、因幡国は毛利方と織田方の最前線となっていた。天正9年3月には、羽柴秀長と宮部継潤・羽柴秀吉らの軍が攻め入って包囲され、山名豊国は因幡一国の安堵を条件に開城をせまられたが、山名豊国と森下道誉や中村春統らの家臣団と対立し、山名豊国は単独で秀吉に投降した。
その後、山名旧臣らは、毛利方より、吉川氏の派遣を希望し、経家が鳥取在番として入場することとなる。それに対して、秀吉は兵糧攻めの作戦を採用する。それに先立ち、秀吉はすでに若狭商人により穀物の買い占めを行わせており、鳥取城の兵糧も売却する者がいたらしい。このような状況の中で吉川経家は、鳥取城で、毛利対織田の合戦の前線に立つことになる。
- * 経家と出自
吉川経安の子として生まれ、天正2年に経安よ

り家督を相続。相続した所領は程度。但し、所領の経営状態はあまり良くなかったらしく、そこで、「因洲六百石之地」を求めて鳥取城で織田方と戦うことを決意したと思われる。

* 鳥取城攻めと経家

- ① 2月26日：家督を吉川亀寿（経実）に譲る。
 - ② 3月16日：芸洲加番衆が出迎える中、鳥取城に入城。20日には石見に書状を送り、当初から兵糧が問題になっていたことが分かる。
 - ③ 5月16日：この時には、城内の戦意が殺がれていた様で、また城内の被官・中間・人足らが「相煩」で役立たず、また無気力であることが報告されている。
 - ④ 6月2日：吉川元春の下に、秀吉とは籠城策で迎え撃つことを報告。鳥取城にいる因幡衆とも連判して兵糧の催促をしており、食糧難に切羽詰まってきている様子がわかる。
 - ⑤ 6月17日：鳥取城では、籠城に向けて具体的な防衛について、予めから定めていた方策を実行し、警戒態勢に入っていたことがわかる。
17日と30日には、改めて兵糧の輸送を急ぐように毛利に要求している。
 - ⑥ 7月30日：石見に書状を2通送っている。家臣へは吉岡将監は防己尾城での勝利を報告している。経家自身は自らの武家としての心構えを子ども達に伝える手紙を出している。
・経家はこの間に和議を秀吉に申し出るが秀吉の条件が次第に増加したという。
 - ⑦ 10月24日：吉川広家に対して、切腹して事態を収束させることを報告、息子亀寿丸に長光刀を渡すように頼み、子息の行く末をも託したと思われる。
 - ⑧ 10月25日：切腹の当日、その前に父経安と子息等に対して、遺言を書き送っている。昼夜200日を耐えたが、兵糧が尽き果て、陣中の諸人を助けるために切腹し、これは一門の名誉であると伝えている。
- * おわりに
経家の因幡下向は毛利家の「貴名」により下ったもので、経家の本位ではなかったと考えられ、当初経家は毛利家と織田家の親睦を期待していた向きがあり、必ずしも籠城戦のつもりはなかった。
兵糧については、鳥取城だけではなく毛利方全体で当初から枯渇しており、度々毛利方に補給を求めているが、鳥取城まで届けられず、一方で吉川経安は兵糧を準備するための金策を行っているが、時期を同じくして経家は死を覚悟している様子がある。
秀吉による経家の評価した点は、自分を犠牲にして家臣を助けたという点。

次週例会予定

2014年11月14日(金) 第1647回例会
クラブフォーラム「IDMの総括」

(編集者 山村保雄)